

漫画

 JASTRO × 日本工学院

MANGA CONTEST

日本放射線腫瘍学会 × 日本工学院専門学校



コンテスト概要

公益社団法人日本放射線腫瘍学会(JASTRO)は、日本工学院専門学校を対象に、放射線治療を題材とした漫画作品のコンテストを実施します。放射線治療に関する3つの基本シナリオから好きなものを選んで、ご応募ください。受賞作品は、放射線治療啓蒙のため、広報・PR活動として、当会の印刷物、ホームページ、SNS 等にて広く発信します。

01 参加資格

日本工学院専門学校の「マンガ・アニメーション科／マンガ・アニメーション科 四年制」に2023年7月現在在籍し、マンガの授業を受講している学生(個人、又はグループ)が対象。

02 応募条件

- サイズ：A4 縦
- ページ数：16～20 ページ程度。
- フルカラー

03 審査方法

一次審査と二次審査にて、作品選考を実施。

1)一次審査「ネーム」審査

注1：原則、全頁応募が条件ですが、途中経過でも可。

注2：「ネーム」データのファイル名は、「name_ 代表応募者のお名前」と記載。

2)二次審査「作画」審査

一次審査を通過された方を対象に作画審査。

注1：全頁応募。

注2：「作画」データのファイル名は、「sakuga_ 代表応募者のお名前」と記載。

注3：尚、作画の色は、原則、カラーとし、表紙・背表紙は必要なし。

04 審査基準

- 放射線治療の関心度、また有効性についての理解度向上に寄与し、より良いイメージが提供できるような作品。
- 「放射線治療の宣伝」ではなく、読後感の良い人間ドラマを通して自然に放射線治療への理解が深まるような作品。
- シナリオをベースとして、より分かりやすい漫画とするために、具体的な日常エピソード人物を追加することは可。
- 漫画の内容、構成、表現力(描写力、文章力、演出力等)とし、当会の広報委員会、日本工学院の「マンガコース」講師等により厳正な選考を実施します。

05 応募方法 / 応募日程 / 選考結果

日本工学院専門学校応募窓口までメールにて応募。

※提出方法は別途授業にて説明あり。

一次審査
応募締切 **2023.8.30** 必着
【水】

結果は2023年9月15日(金)までに
メールにてご連絡。

二次審査
応募締切 **2023.11.7** 必着
【火】

結果は2023年12月7日(木)までに
当会ホームページにて発表。

06 賞金

- 一次審査
「ネーム」通過賞(4名以内)：5万円(1作品につき)4名以内
- 二次審査「作画」審査：
最優秀賞(1作品)：20万円
優秀賞(1作品)：10万円

07 問い合わせ

選考やコンテストに関する問い合わせ等は以下、事務局までお願いします。

●事務局電話番号：03-3527-9971

●事務局メールアドレス：jastro-office@jastro.jp

シナリオ①

50代男性、妻とは10年前に離婚し、その後は深酒を繰り返していた。ある頃から食べた物が通らない、吐き戻す事もあり、ある日吐物に血が混じるため病院に行った。食道癌だった。医者から「次の外来はご家族と一緒にいらして下さい」と言われた。そんな矢先、元妻から一通の連絡が。「娘が結婚します。娘はあなたにも式に出て欲しい、って」「ごめん、癌なんだ」徐々に元妻と会い、主治医から説明を受けた。癌が気管に浸潤していて手術は出来ないらしい。「娘の結婚式までもちますか？」主治医は放射線化学療法を行いましょう、と。抗癌剤で禿るのかと心配したが食道癌の抗癌剤では脱毛はないらしい。2ヶ月の治療はつらかったが、治療が終わり再度胃カメラを受けた時の「良かった。治っていますね」という主治医の言葉と表情は忘れられない。娘の披露宴、細かめに刻まれた食事を味わい、晴れ姿を目に焼き付けた。それから5年、元妻とは相変わらず疎遠だが、孫の写真は毎年送られてくる。

シナリオ②

腰に痛みを感じてから数か月。評判を頼りにあちこちの整形外科を受診し、レントゲンからMRIまでいろいろな検査を受けたが、原因不明。痛みは次第に強くなり、今度は足が動かしにくくなった。ついには歩けなくなり、同時におしっこや便の感覚も鈍くなってきた。「これはやばい」と救急車を呼んだ。緊急で撮ったMRIでは胸椎が圧迫骨折を起こしており「がん」が疑われる、とのこと。取り敢えず放射線治療科を受診するよう言われた。「がん？放射線治療？どういうこと？あんなに病院にかかっていたのに？」放射線治療の医師は、これまでの画像と血液のデータを一瞥すると「多発性骨髄腫が疑われ、麻痺が出ているので緊急で放射線治療をしましょう」と。痛くも痒くもない数分の治療を1日1回、2週間受けた。すると痛みは良くなり、足も動くように。おしっこもうちも分かる！原因不明だった腰痛を一瞬で診断し、治療する医師とその治療の効果に驚かされた。

シナリオ③

ヒカルは15歳。毎日スマホのゲームに動いている。課金したいが、金はない。父から母の40歳の誕生日祝いのために5000円をもらったが、2000円の花と1000円のメッセージカードを買ってきた。2000円はガチャに使ってレアキャラをゲットした。今日は最高の誕生日だ。ふと、母が浮かぬ顔をしているのに気が付いた。40歳を機に受診した検診の結果、がんセンターの受診を勧められたというのだ。後日：父と母が〇〇県立がんセンターの婦人科を受診したところ、子宮頸癌のステージIII、手術はできないから来週放射線科を受診して下さいと説明があったとのこと。母と父は「手術ができないなんて、もうダメだ」と、母は放射線科にも行きたくないと泣いている。ヒカルはスマホで検索をした。「子宮頸癌、放射線治療…」(怪しいページも多く検索されるが、公的施設などの情報が比較的信頼できるというイメージ) → 子宮頸癌のIII期は手術ができないから放射線なのではなく、放射線治療が最善の治療であること。入院で抗がん剤治療を同時に行い、腔内照射という特殊な治療が必要だが、それは〇〇県立がんセンターの放射線科でも行っている。そして、多くの患者が治っていることが分かった。 → 両親に説明すると、2人は前向きになってきた。ヒカルは母の受診にも付き添い、母を支えようと決意した。5年後：ヒカルの成人式 3人そろって元気に記念写真めでたしめでたし。

放射線治療を学ぼう！ 「放射線治療を知る：動画とアニメの視聴」

公益社団法人日本放射線腫瘍学会(JASTRO)ホームページで、放射線治療に関する予備知識をまずは学んでみよう！

見て聴いて知る！がんの放射線治療
<https://www.jastro.or.jp/movie/>



アニメで学べるがんの放射線治療
<https://www.jastro.or.jp/animation/>



その他 / 免責事項等

- 応募作品は、学会が提供するシナリオを基本として書かれたオリジナル作品であること。
- 応募作品の著作権、著作権は当会に帰属します。
- 受賞者からの作品の発信は、当会の許諾の下で可能とします。
- 受賞作品については、作・画ともに受賞者の名前を明記します。
- 応募作品が他人の作品や商業誌・サイトに発表済みの作品と同一、または類似している場合(例：盗作やパクリ、二重投稿などの不正行為の場合)や、応募作品が当会の方針や公序良俗に反する場合(例：暴力的・差別的・猥褻な内容や表現が含まれている場合等)、又は、応募者が当会からの連絡に応答しない場合は、選考対象外となり、受賞資格が取り消しになる場合があります。